



サベリス

# testo Saveris 2

# testo 160

# 初期設定手順

- ユーザー登録 ————— p2
- ロガーの接続方法①～ウェブから設定～ ————— p3～p5
- ロガーの接続方法②～PDFで設定～ ————— p6～p7
- ロガーの接続方法③～ホットスポットモードで設定～ — p8～p9
- ロガー測定設定 ————— p10～p11

## ユーザー登録

### step 1

<https://www.saveris.net>

にアクセスし、LOG INをクリックして、青帯の「まだ登録はされていませんか?この機会に是非ご登録ください。」をクリックします。



### step 2

国の選択からJapanを選択します。

続いて、言語、メールアドレス、パスワード、パスワードの再入力、を入力します。

「既定の取引条件に同意します」にチェックを入れます。登録をクリックします。

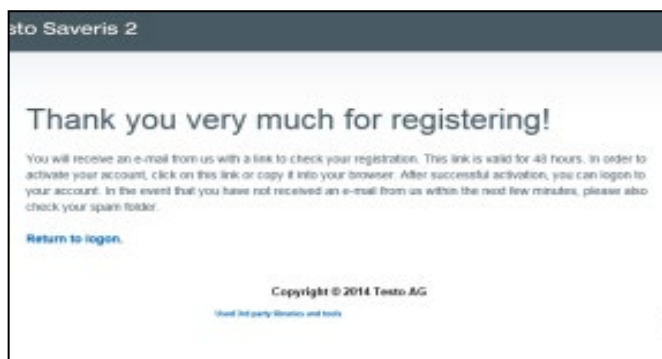


### step 3

登録が完了。登録のメールアドレスに確認のメールが届きます。

### step 4

メールにあるURLをクリックして、登録したメールアドレス、パスワードでログインします。



## ロガーの接続方法① ～ウェブから設定～

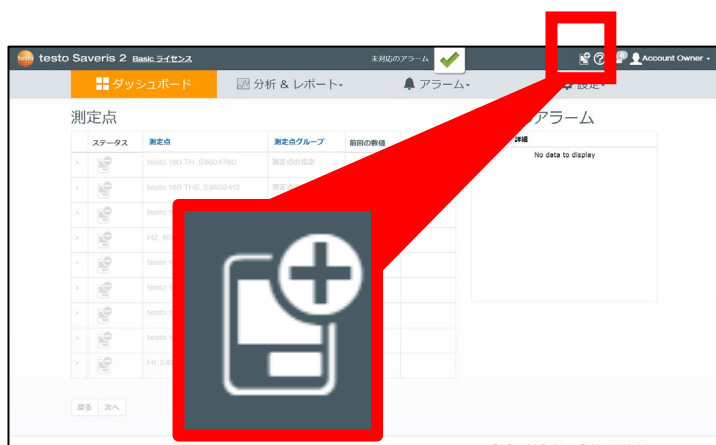
### step 1

登録したメールアドレス、パスワードでログインします。この登録は、ご購入後もご使用いただくものです。再登録はできません。



### step2

画面右上のロガーマークをクリックして、クイックスタートガイドを開きます。



### step3

画面上の指示通りにロガーに電池を入れて、USBケーブルでパソコンに接続します。続行をクリックします。

※ロガーをPCに接続するとリムーバブルディスクとして認識されます。



### step4

無線LANの設定情報を入力します。

SSID: 無線LAN機器の名前  
(英数字、大文字・小文字の区別必要)

Password:  
無線LAN機器のパスワード

(無線LANの情報について不明の場合は、  
担当者に確認してください。)

入力後右下の「設定ファイルの作成」  
をクリックします。



### step5

ファイル名のリンクで右クリックします。そこから、「名前を付けてリンクを保存(Microsoft Edge)/名前を付けてリンク先を保存(Chrome)」を選択します。



### step6

設定データの保存先をSAVERIS  
(またはtesto 160)にして、保存をクリックします。

testo Saveris 2-T2をお使いの場合：

プローブを接続した状態でWi-Fiの設定を行ってください。プローブを接続しないで登録を行うと、“No Probe”と表示され、再度設定が必要となります。

プローブの追加やプローブ種別を変更する場合も、クラウド上で一度”データローガーの削除”を行い、データローガーのリセットを行った後、再度クラウドへ登録する必要があります。



### step7-1 Saveris 2の場合

安全な取り外しを実施後、ロガーの画面に電波マークと雲マークが点滅してから、点灯にかかります。「正常」を選択して完了です。

雲マークが出ない場合は下記の様なエラーコードが出ます。エラーの種類によって再度無線LANの設定やセキュリティ設定変更が必要となるケースがあります。

#### よくあるエラー

- E-26: Wi-Fiアクセスポイントとの接続ができない→SSID/passwordの誤りの可能性あり等
- E-51: ロガーとクラウドの接続ができない→通信に必要なポートがブロックされている、等
- E-52: 接続成功していても稀に発生→大抵の場合、再度ボタンを短く押して接続します。



### step7-2 testo 160 の場合

安全な取り外しを実施後、ロガーの左側面のLEDライトが緑色に長く点灯します。

点灯が消え、設定ファイルが正しく読み込まれている場合、USB抜去後LEDが緑色に1回長く点灯します。設定ファイルが正しく無いor電池がない場合はUSB抜去後LEDが赤色に点灯します。

・クラウドとの接続が確立した場合  
→暫くしてから1回短く緑LEDが点灯し、すぐに緑LEDが2回点滅

・クラウドとの接続に失敗した場合  
→約20秒後に赤LEDが2回点滅  
→前述のよくあるエラー欄と同様のエラーが発生している可能性があります。再度ボタンを短く押してもエラーとなる場合は、無線LANの設定をし直して下さい。

※エラーを繰り返す場合は、8ページの「ホットスポットモードで設定」より、エラーログ確認を行ってください。



※詳しくは別途LEDステータス表を参照してください。

## ロガーの接続方法② ～PDFで設定～

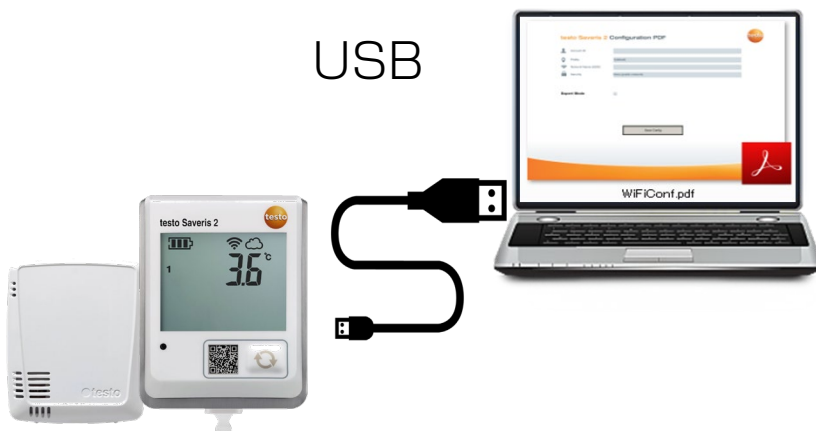
### step1

Testoクラウドにログインをして、設定→アカウントIDをクリックします。  
その後、表示されたアカウントIDをコピーします。  
(例: HR-MM-HH-W9-asia)



### step2

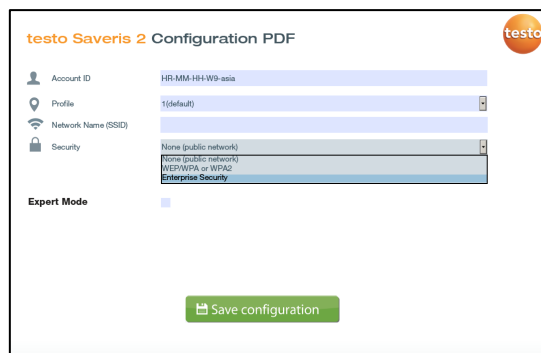
testo Saveris 2 / testo 160 をUSBケーブルでPC(windowsのみ)に接続します。  
接続後、まもなくリムーバブルディスクとして認識されます。  
ストレージ内にあるWiFiConf(.pdf)というファイルをAdobe Readerで開きます。



### step3

PDFを開いたら、下記フィールドに必要な情報を入力/選択していきます。

- Account ID→Step1でコピーしたアカウントID
- Network Name (SSID)  
→接続するアクセスポイントのSSID
- Security  
→None、WEP/WPA or WPA2、Enterprise Securityから選択
- Password→アクセスポイントのパスワード  
※[Expert Mode]にチェックを入れると、固定IPの指定が可能です。



### step4

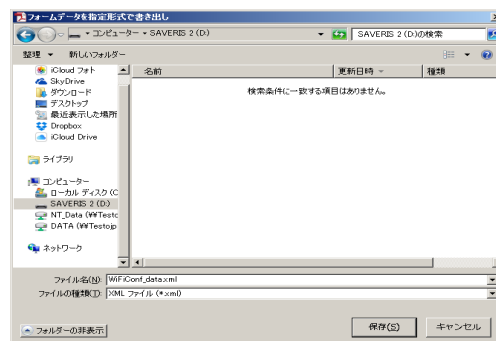
必要な情報が入力できたら、  
PDF中の緑のボタンの  
[Save configuration]をクリックします。



### step5

ポップアップが出現したら  
ファイル名を変えずに、リムーバブルディスク  
の[SAVERIS]または[testo 160]のストレージ  
内に保存します。その後安全に取り外します。

複数のロガーを同時に設定する場合は、  
保存先をデスクトップ等、ローカルフォルダに一  
度保存し、それぞれのロガーのストレージにコ  
ピー&ペーストを行うと便利です。



### step6

設定ファイルを読み込んだ後の挙動は5ページのStep7を参照ください。

**ロガーの接続方法③**  
 ~ホットスポットモードで設定~

\*旧Saveris 2 (型番: 0572 200X)は非対応

step 1

写真右のボタンを3~5秒長押しして離すとロガー本体からWi-Fiの電波(2.4GHz)が発せられ、アクセスポイント化します。

※エラーログを確認する場合も使用します。



step 2

ロガーのLEDが緑色に1秒間隔で点滅し始めます。ディスプレイ付きの機種であれば [conf ]という文字が表示されます。

※ホットスポットモードを終了する場合は、3~5秒長押しして離します。短く赤点灯し、通常モードに切り替わります



step 3

モバイル端末等のWi-Fi設定から、[ Saveris 2 (またはtesto 160) SN: xxxxxxxxx ]というSSIDが見つかるので、接続してください。

接続が完了したらモバイル端末画面上に接続完了のマークが出現します。





## step4

接続完了後ブラウザアプリを立ち上げURL欄に  
[ 192.168.1.1 ]と入力しOKをタップします。

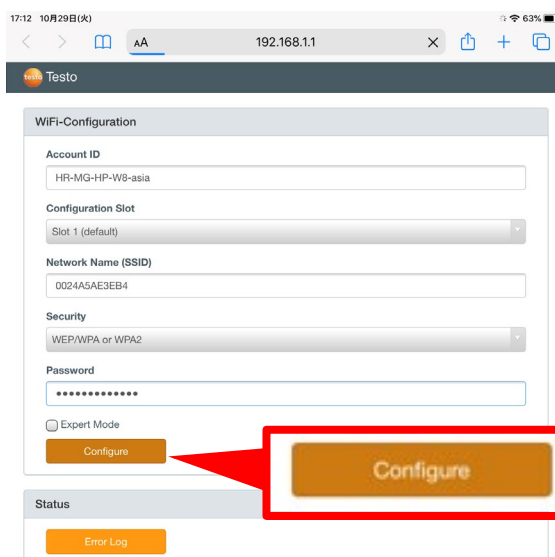
すると、ロガーに直接設定できる画面が現れます。



## step5

設定画面が開いたら下記入力フィールドに必要な情報を入力していきます。

- Account ID  
→6ページのStep1で確認できるアカウントID
- Network Name (SSID)  
→接続するアクセスポイントのSSID
- Security  
→None、WEP/WPA or WPA2、Enterprise Securityから選択
- Password→アクセスポイントのパスワード  
※[Expert Mode]にチェックを入れると、固定IPの指定が可能です。  
最後に[Configure]をタップすると設定情報がロガーに送信されます。

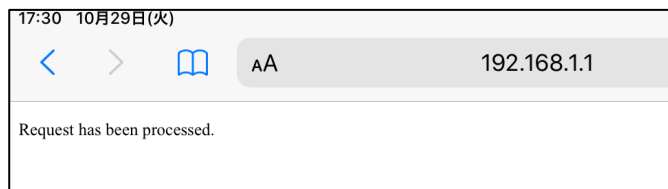


## Tip

何度も接続に失敗してしまう場合、[Error Log]をクリックすると、これまでのエラー履歴の詳細を確認可能です。

## step6

設定が送信されるとブラウザ上には  
[Request has been processed]  
と表示されます。



## step7

設定データを読み込んだ後の挙動は5ページのStep7を参照ください。



## ロガーの測定設定方法

### step1

クラウドとの接続が確立しているロガーがダッシュボードに接続したロガーが表示されます。



### step2

メイン画面のメニューから、「設定」を選択して、「データロガー」をクリックします。設定するロガーから「設定」をクリックします。



### step3

設定したいロガーを選択し「詳細」をクリック

複数のロガーの設定を一度に変更する場合はチェックボックスに✓を入れて「選択されたロガーを編集」をクリックします。測定間隔と通信間隔の変更が可能です。

データロガーの表示

1ページのロガー表示数 [ 15 ] 実行

データロガー名	データロガーモデル	電池	WiFi	測定点	シリアル番号	ファームウェアバージョン	測定値	直近の数値:	<input type="checkbox"/> すべてを選択
T1_45805175	T1			SAデスク後ろ	45805175	v01.78	24.7 °C	11/06/20 20:00:00	<input type="checkbox"/>
H1_45803002	H1			出荷グループデスク付近	45803002	v01.78	22.7 °C 67.9 %rF	11/06/20 17:00:00	<input type="checkbox"/>
T1_45801262	T1			カタログ置き場	45801262	v01.78	23.4 °C	11/06/20 19:45:00	<input type="checkbox"/>

データロガーの表示

選択されたロガーを編集 (8 of 8)

1ページのロガー表示数 [ 15 ] 実行

データロガー名	データロガーモデル	電池	WiFi	測定点	シリアル番号	ファームウェアバージョン	測定値	直近の数値:	<input checked="" type="checkbox"/> すべてを選択を解除
T1_45805175	T1			SAデスク後ろ	45805175	v01.78	24.7 °C	11/06/20 20:00:00	<input checked="" type="checkbox"/>
H1_45803002	H1			出荷グループデスク付近	45803002	v01.78	22.7 °C 67.9 %rF	11/06/20 17:00:00	<input checked="" type="checkbox"/>



### step4

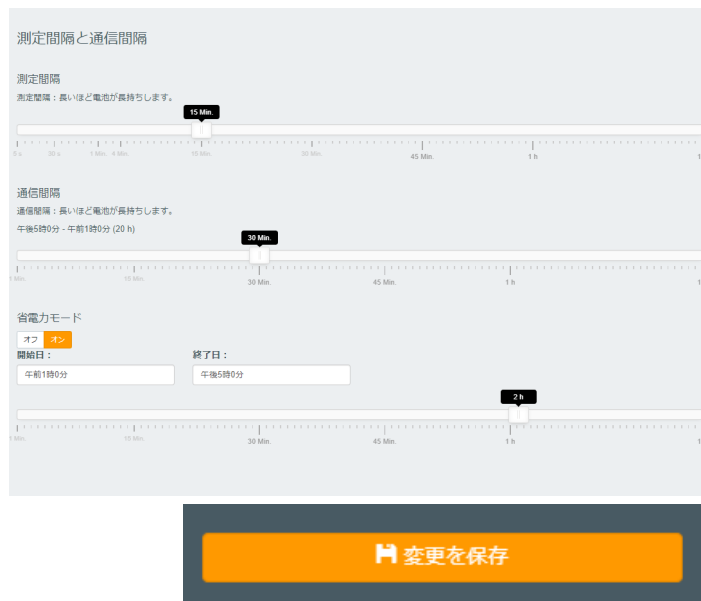
設定画面でロガーの設定を行います。測定間隔と通信間隔をそれぞれ設定します。

省電力モードは、夜間など一定期間の通信間隔を任意に設定可能な機能です。

(電池を長く使うため夜間は通常長めに設定します。)

設定後、「設定を保存」をクリックで、変更データが次の通信の時にロガーに転送されます。

無線データロガーが Testo クラウドにデータを再送信するまで、変更は反映されません。

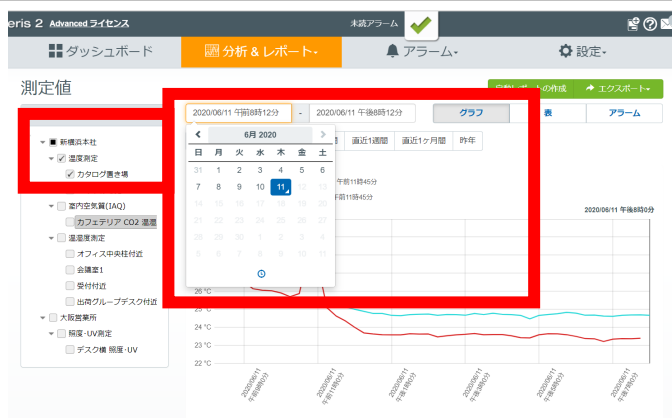


### データの確認方法

データを確認する場合は、メニューから分析&レポートを選択します。

左からロガーを選択して、表示する範囲の日時を設定します。

「グラフ」を選ぶと、グラフが表示されます。



「表」を選択した場合→

